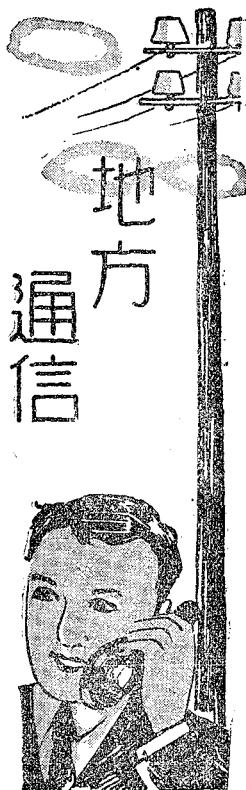


地方通信



福島縣乙字橋及大山橋の竣工

山形宮城兩縣間の交通網が開かれ振興五ヶ年計畫と相待つて縣下道路網の面目を一新することとなるので關係地方では深く其完成を待望して居る。

通信

東北地方

盛岡市の名橋夕顔瀬橋の麗姿の出現近きか

岩手縣盛岡市内の名橋夕顔瀬橋は往昔八

幡太郎義家が父頼義と共に安倍貞任を征伐

した際力盡き貞任が苦策を案じて夕顔を頭

改修

山形縣府縣道十八路線の

福島縣中山峠開鑿起工

若松市と郡山市を結ぶ會津街道の難所中

山峠の開鑿は東北振興の一つとして豫てから計畫中であつたが、愈工費七萬五千圓で施工することとなり八月十九日同峠の絶頂で起工式を行つた。

福島縣石城郡内小川橋と

大山橋の竣工

流、川の中央に中の島を築き架橋したもののが流失の厄に逢つた、舊藩時代以來地元民は幾度も食糧や労力を出し合つて橋の上

岩手縣盛岡市内の名橋夕顔瀬橋は往昔八幡太郎義家が父頼義と共に安倍貞任を征伐した際力盡き貞任が苦策を案じて夕顔を頭として澤山の藁人形を作り甲冑を着せて櫛勢を張つた所から此橋名を生じたと傳へらるる名橋であるが、北上川出水の都度幾度か流失の厄に逢つた、舊藩時代以來地元民は幾度も食糧や労力を出し合つて橋の上

立たとの事である。地方關係者は斯の如き麗姿を出現するの時を待望して已まないとの事である。

山形縣に於ての失業救濟時局匡救道路の未成の部分に更に二線を加へて十八路線の選定して改良することとなつた。この工事に依り仙臺、山形、米澤の三都市を結ぶ

石城郡内小川郷附近縣道上小川線の復
井川に架する小川橋は、延長四十七米幅員
五・五米工費一萬三千圓を以て施工し同郡
入遠野と上遠郡との村境に架設の大山橋は
延長三十八米幅員五・五米工費一萬五百圓
を以て施工し何れも完成を告げたので縣道
石川湯本間の重要路線も面目を一新するに
至つた。

關東地方

茨城縣大形橋工事概要

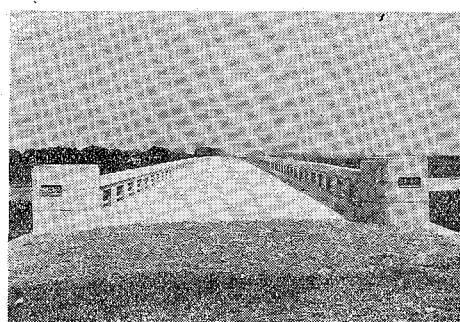
茨城縣結城郡大形村地内鬼怒川大形橋は
本誌九月號（一二九頁）に掲載したる通八
月十九日開橋式を舉行したが其の工事の概
要を記すれば左の如し、

大形橋工事概要

鬼怒川（藍田宗）設架道線結城郡大形村西豊田村地内
着手 昭和九年九月一八日

橋			
梁	鬼怒川	設架	鬼怒川
總延長	（蘇田宗）	（道）	（蘇田宗）
總幅員	結城郡大形村	總	豐田村地內
此面積	二九六、二	着手	昭和九年九月一八日
	米		昭和一一年八月一四日
一、七七七、二平方米	六、〇	竣工	昭和一一年八月一四日

取付道路	總長	二、一〇九〇
總幅員	五、五	
內左岸	九四九、〇	
右岸	一一六〇、〇	
一一三、七八八、〇		



圓米米米米

一部構造(鐵筋混凝土)
丁形桁(洪水敷架設)一三、三米二經間
式桁(低水敷架設)二四、〇米三經間
一九、〇米二經間

鐵筋	二一、二八九一、延七 セメント
砂利	二一、二四〇、袋〇
延人員	一、三五一、立米〇
取付道	二、六五四、立米六 一六九〇〇、人

土工	九、四五六、立米八
敷砂利	七四四、立米三
延人員	三、二〇〇、人

茨城縣鹿島新縣道の開通

茨城縣鹿島郡神宮附近の縣道改修は匡救事業として一萬圓の經費額を以て施工中の處此程完成を告げた、夫れで從來の神宮奥の宮附近に接近した縣道は廢止された。新縣道は延長二、〇〇〇米幅員五・五米の坦々たる明粧道である。

二基

混
凝
土

橋臺

橋

千葉縣下の道路愛護會

千葉縣東葛飾郡下では三十ヶ所の道路整
護會が結成され着々草刈り、側溝掘鑿等の
奉仕がさゝげらることとなつた。

東京府下城北の經濟路線 の改修

東京市小石川區太陽町西から池袋に至る
幅員二十七メートルの二等一類十二號道路に
續いて、池袋から板橋に至る、總延長約一千
一杆に及ぶ城北方面の大動脈放射線八號道
路工事中既に池袋四丁目、板橋四丁目間の
二千六百メートルは完成して目下一番難工
事である上板橋一、二丁目間八百五十メー
トルが着々進捗中であるが更に、近く上板
橋六丁目地内千三十五メートル練馬北田一
丁目地内五百二十メートル、同二丁目地内
千百二十五メートル、成増地内七百メート
ルの用地買収にかかるはずである。この道
路は城北の經濟道路として有効なばかりで
なく、オリムピック村板橋誘致運動なども
あり、同地方民は一日も早くその完成を待
ち望んでゐる。

多摩御陵の神域に輝く南 淺川橋の雄姿

東京府南多摩郡笛川村地内多摩御陵の神
域近く表参道の南浅川橋が竣工して其の麗
姿を近く出現することとなつた。同橋は、
總工費十四萬圓の鐵筋コンクリートアーチ
型、橋長は五十三米、幅員は二十米、場所
柄裝飾には特に意を用ひ、橋の兩側袂には
小公園が設けられてあり、完成の曉には神
域に一入の風情を添へる事であらう。

新道路観光の下県奈川神

神奈川靜岡兩縣に亘る箱根・熱海・小田原を結び付けての箱根國立公園の遊覽施設はオリムピック開設の爲め拍車をかけられ急施を告ぐる事となつた。即ち小田原・熱海間相模灘沿岸道路本縣の分一萬七千米改修路面鋪裝工事と箱根山中麓のカーブとされてる小涌谷の七曲り道路及び溫泉村宮ノ下學交前既成坂カラ二ヶ所の大改修工事及

北陸地方

新潟縣石津、柏崎線縣道刈羽郡高濱町椎谷地内の通稱觀音坂は冬期激浪に漂はれたる土砂が崩壊する等の難所でこれまで度々災害復舊工事を施行したが、巨額の工費を呑み盡され縣でも恒久対策として工費五萬三千圓で隧道掘鑿に決定、着工を見る事になつた同工事は隧道内部道路幅五メートル五〇、高さ五メートル五〇、延長八〇メートルとし内部はコンクリート、プロック捲き最近にない難工事である。

石川縣羽咋郡志雄町道路 愛護會の活動

が立てられたとの事である。
にひどいでは是非ともこれは静岡縣側と呼
應して實施すべく豫算は大體本縣側の分十
二萬圓、静岡縣側八萬圓、計二十萬圓の豫
定、また箱根麓の急坂曲線路改修は七曲り
十萬圓、學校前五萬圓程度で改修する計畫

石川縣羽咋郡志雄町地方の道路愛護事業は屢々既報の如く中村長久氏等の先達に依り益々進歩し來つたが志雄町では道路愛護會々則を設定し日昭和十一年度道路愛護度を定め、五班三十三組に分ち崩壊土砂の取除、耳削り、溝掘り、水吐き、砂利敷、路面不陸直し、法面の保護、暗渠の掃除等の事業を熱心なる奉仕として遂行する所があつた。

東山地方

長野縣松川橋竣工

長野縣北安曇郡南部の中心部、池田町と松川村を結ぶ縣道高瀬川に架する池田松川橋は客年總工費七萬餘圓を以て幅員二間半延長二百二十間のゲルバーホ式コンクリート橋として架橋施工中の處此程漸く竣工した。

信濃追分復興の福音

「追分一丁、二丁、五丁ある内ですよ、廓の三丁目が儘ならぬ……」と追分節に歌はれ

た中山道淺間、根鹿、三宿の隨一、信濃追

分が激盛を極めたのは昔物語りとなつて疲弊したみすぼらしき古驛が今回近衛公の御聲がかりで北國街道と中山道との分歧點に建てられた地藏尊、常夜燈、觀世音など名工の手に成る昔ながらの古蹟を捨て置くを惜み復興を企つることとなり、追分全盛の時代唯一の名殘樹形の茶屋と同一様式の茶屋をも建設することとなつた。

岐阜縣下木曾川橋と今尾屋をも建設することとなつた。

岐阜縣下木曾川橋と今尾橋との着工

岐阜愛知の兩縣界を流るゝ木曾川の木曾川橋と揖斐川筋の今尾橋も愈々着工する運びとなつた。其工事概要是木曾川橋、延長四六二メートル幅員九メートル一九年度から三ヶ年繼續で工事費七十萬圓を投じ岐阜、愛知兩縣で折半負擔し十一年度末までに橋脚六基橋臺二基の難工事を終り十一年度から大坂横川橋渠會社で製作中の鐵桁七連の納入をまつて十二月末までに架渡工事を終り十二年度に入つて仕上工事の鐵筋コンクリート床板の施行、アスファルトブロックの鋪装、ペンキ塗装を終つて同九月完成する

豫定である。

今尾橋、延長三四〇メートル幅員四・五メートル一工事費二十四萬圓で九年度から三ヶ年繼續事業で着工十一年度までに橋脚五基、橋臺二基の工事を終り今年度からは注文中の鐵桁が納品され次第架渡工事を開始し明年九月完成の豫定である。

東海地方

靜岡縣道路愛護運動

靜岡縣では、凡そ交通運輸機關の整備は文化の普及、産業の發展伸長に最も密接なる關係を有し、其の施設の良否は民力の消長、國運の隆昌に影響する所甚だ大きなものあり、就中道路は普く地方に分布し其の利用の範圍亦極めて廣汎にして之が維持改善は刻下喫緊の要務なりとす。

今や本縣に於ける國道及府縣道は其の延長七百四十里に亘り所謂縣下道路網の根幹漸く成り日常其の維持改善に鋭意力を竭し至つてありと雖も之が萬全を期するは蓋し至難の業にして是れ偏に地元市町村民の協力

寄與に俟つこと切なるものあり。

活躍することとなつた。

顧ふに縣民として此の日進の社會に處し各自の實生活に最も價値多き關係道路を一貫尊重愛護し官民一致之が維持保全に盡

愛知縣下の白砂青松を賣
く大道路

し、道路機能を完全に發揮せしむるは刻下緊切の時務にして又以て地方の福利増進に努むる所以なりと信ず、往時地元地方民が其の關係道路を愛護し輕易なる維持修繕は自發的に協力施行したる奉仕の美風は道路に関する法制の完備と共に漸く頽廢せんとし一に道路管理者の爲す處に倚頼しきざる傾向あるは寔に遺憾とする所なり、依て其の對策の一端として今回別に公示を以て道路愛護獎勵規程を制定し道路愛護の美風

愛知縣知多郡師崎町大井地内大觀光道路は眞向海岸より和田に至る幅員五メートル五〇、延長約三千メートルで昭和七年度から着工中で、十一年度内に完成する同觀光道路は工費約五萬圓で海岸の觀光ドライヴ・ウェーである。同附近は風光明媚、海水浴の好適地で附近の松林はキャンプにも適し此の道路の完通をまつて海水浴旅館を始め別荘十數軒も計畫され同觀光道路附近は加速度的に發展する模様である。

愛知縣に於ける經濟的價値ある道路の改良

及地元各種團體に於ては進んで本趣旨に賛同し道路愛護の念を涵養し施設作業に貢献し以て社會奉仕の實を收められんことを望むとの諭告（八月一日諭告第二號）が齋藤内閣より發せられ「道路愛護獎勵規程」を知事より告示し且道路愛護作業要項並に道路愛護會規則をも廣く通牒し尙且一愛せよ道路設けよ愛護闇一奉仕の汗に輝く道路一不斷の愛護に伸び行く郷土との標語をかざして大に

名古屋—西尾、知立—西尾、名古屋—豊橋の國道建設を
一足助一、西尾 蒲郡—豊橋の國道建設を
九月から着工することとなり、さらに國道
十二號枇杷島—笠松間の名敦道路愛知縣區
域の完成を期する計畫である。この道路は

あげ得るといふことが各方面の総合的研究により算出され主に自動車運轉費の節約三分の一、一般利用者が三分の一、沿道の發展による地價の値上りなどが六分の一その他となり十年後には完全に費用を回収し得るから營利會社の投資目的として道路建設は採算が立つといふことが立證されたことへなつた。

愛知縣岡崎市等の道路明 粧

岡崎市繁華街の玄關口名鐵東岡崎驛と、

すでに竣工した枇杷島—清洲間を延長し、一宮市の驛前廣場を通り、中島郡今伊勢村宇馬寄地内へ東海道線、名鐵電車を跨線橋によつて横断、笠松にいたり昭和九年來工費七

縣道助足線につらなる都計線七百六十九メートルは總事業費三十三萬二千圓を投じ昭和十、十一兩年度繼續事業として着手し目下新國道と傳馬町舊國道間二百四十一メートルを十年度繰越事業として工事中であるが同ペーパメントには街路樹として岡崎では初めての柳を植ゑ美装をこらすこととなつた又西尾町では天王町地内、鶴ヶ崎地内、高砂町地内、三路線の鋪装も決定し工費一萬三千五百四十五圓の受益者負擔もまとまり二十一日から着工する、この工事が完成すれば西尾町目抜き通りは全部美化を遂げることとなる。

三重縣矢ノ川の天險征服

さる

三重和歌山兩縣の交通動脈で而かも難工事の尤なる産業道路が竣工を告げ九月十四日歴史的な竣工式が盛大に行はれた、同道路は金山花崗岩をもつて成る熊野灘絶壁海岸の背柱たる矢ノ川峠の天險だけに工事は豫想以上の難關に遭遇し就労延人員二十八萬三千人中三百人の死傷者を出したほどであるが科學と人力は遂にこの天險を征服

しこゝに紀州と伊勢の自動車交通がはじめられることになつてゐる。又此新開鑿を開機とし三重縣の土木課長として其の文才をたゞへられて居る上井洋人自ら實地を視察し粹な心意氣を示すこととなつた其の撰擇された矢の川八景は、

一、三田谷の溪流——尾鷲市街地をはなれて最初に車窓に迫る景色、矢の川のつめたい水が杉、檜純林のオゾのなかを白く碎けて走つてゐる、岩魚が車の警笛におどろくだらう。

二、南谷の石壁——きり立つた岩の壁と岩の敷物、それがみな花崗石の豪華。

三、瀧見の橋——瀧あり樹海の展望あり、紅葉谷のながめが美しい。

四、猪おとし——第一トンネルを出たあたり、絶壁にかかる雲のたゞまひは南國の空を物語るに十分だ。

五、傳唐越——こゝは矢の川最古の峠、今は鹿の通る道もないほどだが熊野地方には忘れられぬ追憶があらう。翠柏あふるゝばかりである。

六、つむじトンネルの大景觀——矢ノ川中

ンネル附近で道は左まがりのループ式をして開かれ十月十五日から省營バスが運行されことになつてゐる。又此新開鑿を開機とし三重縣の土木課長として其の文才をたゞへられて居る上井洋人自ら實地を視察し粹な心意氣を示すこととなつた其の撰擇された矢の川八景は、

一、木茶屋跡——南牟婁郡賀田灣を見下す風景、熊野通ひの船がブリュウ・ブルックの水平線上に白い。

二、ケーブル跡——ケーブル山上終點の眺めでこゝからは矢の川の全貌的景觀が一目である。

七、三木茶屋跡——南牟婁郡賀田灣を見下す風景、熊野通ひの船がブリュウ・ブルックの水平線上に白い。

八、ケーブル跡——ケーブル山上終點の眺めでこゝからは矢の川の全貌的景觀が一目である。

近畿地方

大阪府の府縣道六線の改修

大阪府では次の道路の改修に着手することとなつた。即ち柏原—八幡線（大戸、枚岡村地内）幅員七メートル延長千百十一メートル△大戸—鯨江線（盾津村地内）幅員八メートル延長三百三十三メートル△開茶屋—大阪線（矢田村地内）幅員五・五メートル、延長八十九メートル△枚岡南—大阪線（三野郷村地内）幅員五・五米延長七六メートル△古市—八尾線（志岐村地内）幅員

貢五・五メートル、延長二百メートル△八尾—稻田線（小阪町地内）幅員八メートル延長八百二十五メートル、なほ大和川右岸（瓜破村地内）の蛇籠工事、護岸水制工事が延長三百メートルはわたつて行はれるほか大和川大正橋（大正村地内）の架替工事も近く着工、鐵筋コンクリートの最新式の橋が明春南河内、中河内を繋いで出現することとなつた。

大阪府下の陸橋竣工

大阪府北河内郡守口土地區畫整理組合が京阪國道と京阪電車守口驛を結ぶ近道として建設した新道の竣工式と陸橋「守居橋」の渡初め式は八月二十七日午前九時から同陸橋南側廣場で盛大に舉行された。

兵庫縣下の伊弉諾神社の 参道完成

淡路津名郡志筑町から官幣大社伊弉諾神社にいたる七千九百四十メートルの縣道は昭和三年十月から幅員五メートル半とする改修工事に着手し九ヶ年目のこのほどやつと道路のみは完成したので尙残された中間

の落合橋（延長十一メートル四、幅員五メートル、半鐵筋モダン橋）の架替へを施工し参道として完成し十月の頃盛大な開通式を舉行する段取りとなつた其の改修に要した工費はざつと二十萬圓で今後は更らにこの道路を全部補装し参道として遺憾なきを期して居る。

兵庫縣下加古山の長橋成

兵庫縣加古川、高砂兩町を結ぶ產業道路高砂縣道に架る加古川下流の縣下一の長橋——高砂相生橋架替工事はこのほど竣工、十月初旬盛大に渡初式を舉行する豫定である。新「相生橋」は總工費二十三萬圓昭和九年十一月着工、約二年の日子を要してゐる、長さは四四〇メートルで加古川橋より

七〇メートル長く幅員六メートル、橋脚二十三、三徑間連續ゲルバート式コンクリート造りのモダンで堅牢なもの、欄干には兩端および七〇メートルごとに六〇ワットの電燈を取りける、開通の曉は十一月ごろ完成の高砂縣道と相俟つて躍進高砂、加古川と地方交通上に盡期的な便益をもたらすもの

として期待されてゐる。

和歌山縣新宮の直線道路 の開通

和歌山縣熊野大橋から新宮中學校前に至る十一町餘の縣道は文字通りの直線で新宮と和歌山市を結ぶ大邊路道路中の隨一とされ、大いに新宮の誇りとしてゐたが今度新中前のカーブをさらに直線にするため同所から三輪崎道路に聯絡する基點まで延長二町の水田を買収して新道を建設、今回完成した、これで既報の分と合し二十三町の直線市街道路が出現したわけで、このため從來自動車で新宮三輪崎間二十分を要したもののが十五分に短縮された。

中國地方 鳥取縣道路協會生る

鳥取縣下の道路は他府縣に比して著しく遜色があるので道路改良事業の進展を促進するの方策として鳥取縣道路協會を設立し知事、經濟部長、土木課長初め關係の官公

吏を初め交通業者をも網羅し遺算なきを期することとなつた。

鳥取縣勝田橋黒川橋の竣工

鳥取縣東伯郡赤崎町西方安田村地内を貫流する国道二川に架する勝田橋並黒川橋は前者は一二、五六五圓後者は一、六一五圓で兩橋とも同様の鐵筋コンクリート延長三六米幅員五・五米橋脚二基の最新型モダン橋として竣工を告げた。

島根縣熊野田の散歩道現はる

島根縣豊能郡熊野田村では同村中央部を貫流する兎の川底を深くして出水時に備へるとともに、東豊中住宅地から小學校附近にいたる約八町の西岸堤防上に幅員三間の散策路を設けることとなり、工費一萬五千圓を以て施工することとなつた。また路の兩側には村内各種團體の寄附で櫻樹を植ゑるはずで、將來は熊野田名物櫻のトンネルとして「豊中市」東部唯一の行樂地帶として發展させて見せると意氣込んでゐる。

廣島縣音戸の瀬戸觀光道路の工事

吳市響固戸町の音戸渡から冠崎大入を經て阿賀町延崎に至る十キロ循環道路改修工事は着々進められ、音戸の渡場から冠崎間の三キロは本年度中に完成し今後四ヶ年後には幅員六メートルのドライヴ・ウェーが竣工するはずで、これによりその昔平清盛

が切拓いたと傳へられる風光絶佳な音戸の瀬戸を右に見て砲臺山を迂回、足下に横はる阿賀港に臨み蜿蜒たる山腹道路が出来上るわけである。尙音戸の瀬戸一帯の海濱道路に松と櫻の並木を植ゑ更に海軍と交渉の上砲臺山へも植樹して自然の景觀を増し理想的綠樹鬱蒼たる觀光道路として吳軍都の名勝たらしむべく準備を進めてゐる。

高知縣安藝郡東吉良川村の縣道要衝にしての威容を誇る吉良川橋と東の川橋はこのほど立派に竣工していよいよ九月八日盛大に竣工式を挙行した、憶へば一昨年九月二十一日拂曉未會有の猛颶風に襲はれ一瞬にして流失したこの二橋は地元に燃え盛る復興意識と縣の積極的災害復舊對策と國庫補助によつて二年後の今日立派に實を結び近郊住民に歡喜をあげしめてゐるのだ。吉良川橋の工費四萬六千圓、東の川橋の工費一萬五千圓、かうした巨資を投じて完成した頑丈なモダン橋は永遠に藝東災害史を記念する金字塔として輝き盛典の賑ひも想像に過ぎたものであつた。

四 國 地 方 高知縣高知市外の快走路 成る

高知市外五臺山公園もいよいよ市民待望

高知縣下の道路愛護運動

高知縣安藝郡室戸町では八月二十日を出發して道路修繕の奉仕に從事した、吾川郡西分村では八月二十日浦戸村では同二十一日、日下村では同十八日、秋山村では同二十二日道路愛護會を設立した。又香美郡良布村道路愛護會では九月二日富山村道路愛護會では八月二十四、五日夫れ道の除草溝浚へ路面均し等に奉仕する所があつた。

九州地方

福岡縣坂本式道路塗裝

福岡縣では割期的施工法として非常な好評ある坂本式道路塗裝（縣坂本土木部長が前任地茨城縣に於いて十分に試験した簡易鋪裝工法）に關して既報の如く福岡縣でも已に經驗を経たる所があるので愈よ本年度内に十四ヶ所を選定し工費四萬五千餘圓を投じ延長二十三キロ四百七十米總面積十三萬三千五十平方米の塗裝道路を實現すること

とよなつた、其の施工個所等は次の通りである。

△福岡管區 國道二號線（筑紫郡二日市町山口村自既鋪裝終點至俗明院橋延長一、四〇〇米、幅員六米、面積八、四〇〇平方米

△前原管區 福岡唐津線（糸島郡前原町自潤至前原、萩原延長一、二〇〇米、幅員五、五米、面積六、六〇〇平方米）

△久留米管區 國道二號線久留米田線（久留米市諫訪町、千本松、延長一、二〇〇米、面積六、六〇〇平方米）

△箱崎管區 國道二號線（柏屋郡和白村香椎村飛行場分岐以内延長二、四四〇米、幅員五、五米、面積三、四二〇平方米）

△折尾管區 國道二號線（遠賀郡水巻村折尾町遠賀村岡垣村、延長一、五〇〇米、幅員平均六米、面積九、〇〇〇平方米）

△小倉管區 國道三號線（金救郡曾根町、曾根驛前後、延長一、〇〇〇米、幅員五、五米、面積五、五〇〇平方米）

△行橋管區 國道三號線（京都郡行橋町自小波瀬川橋至既鋪裝終點延長一、一八〇米幅員平均六米、面積七、〇八〇平方米）

△八屋管區 國道三號線（築上郡自山國橋既鋪裝終點至八屋町既鋪裝終點、延長四、四五〇米、幅員六米、面積二六、七〇〇平方米）

△直方管區 直方芦屋線（直方市古町自鋪裝終點至天神橋延長一、八〇〇米、幅員五米、面積九、〇〇〇平方米）

△伊田管區 金田後藤寺線（田川郡後藤寺町既鋪裝終點以北、延長一、二〇〇米、幅員五、五米、面積六、六〇〇平方米）

△久留米管區 國道二號線久留米田線（久留米市諫訪町、千本松、延長一、二〇〇米、面積六、六〇〇平方米）

△柳河管區 福岡柳河線（三瀬郡蒲池村柳河町既鋪裝終點以北、延長一、三〇〇米、幅員五、五米、面積七、一五〇平方米）

△甘木管區 福岡大分線久留米日田線（朝倉郡夜須村、浮羽郡吉井町田主丸間、延長二、〇〇〇米、幅員五、五米、面積一、〇〇〇平方米）

△福島管區 國道二號線（八女郡福島町長峰村、福島町既鋪裝終點以北、延長一、三〇〇米、幅員五、五米面積七、一五〇平方米）

△大牟田管區 瀬高大牟田線（三池郡銀水村大牟田市側既鋪裝終點以北、延長一、五〇〇米、幅員五、五米、面積八、二五〇平方米）